

2022

2月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第210号-①【基準日 2022年1月31日】



## 社長メッセージ



### 調整局面でも慌てず冷静に



ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今年も早いもので2月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

足元、国内では新型コロナウイルスのオミクロン株による感染が全国で急拡大しており、入院、宿泊療養、自宅療養、濃厚接触者の待機などにより様々なところで社会生活に支障を来し始めてきているようです。現在の政府のコロナ対策は、コロナ感染による重症化リスクよりも社会活動が制限されることによるペナルティの方が大きなリスクになるという本末転倒な過剰な対策になっているように感じます。

コロナ禍になってから早3年目になりますが、当初から一部の医師や医療関係者、専門家の方々が提言されているように指定感染症区分の見直しをするなどして、現在、逼迫してボトルネックになっているシステム・仕組みを早急に変更していかないとコロナによる直接的な被害よりも大きな社会経済的損害が生じてしまい、そのコストを将来にわたって私達国民が負担していかなければならなくなると思われます。

さて、先月のマーケットですが、世界株式市場は、昨年末までの史上最高値更新ラリーから一転して、供給制約等によるインフレ長期化懸念が高まり、米国の金融引締めによる早期利上げ観測から長期金利が上昇し、さらにウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりによって大きく調整した1ヶ月になりました。特に昨年以上昇相場を牽引していたハイテク株などのグロース銘柄が金利上昇への懸念から大きく売られました。その一方で、原油価格高騰や金利上昇の恩恵を受けるエネルギー関連株や金融株などの景気敏感バリュー株が、昨年の上昇幅が小さかったこともあり相対的に低い下落率に留まりました。



日本株についても同様に大きく調整しました。割安なバリュー株が株価バリュエーションの高いグロース株よりも相対的に低い下落に留まった一方で、中小型のグロース株が多い東証マザーズ指数は20%を超える大幅な下落となりました。

そのような中、皆さまのありがとうファンドの先月の騰落率は月間で12.4%の下落となりました。世界株が5.3%の下落でしたので、相対的に大幅に出遅れる1ヶ月となりました。日本株TOPIX配当込みは4.8%の下落となりました。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

今後の見通しについてですが、新型コロナパンデミックからの本格的な景気回復が期待されるものの、エネルギーや原材料価格の高騰、供給制約に伴う需給逼迫による物価上昇の長期化、米国の金融緩和正常化による今後の金融引締めや利上げの動向が株式市場に大きな影響を及ぼす可能性が高いと思われれます。



金融緩和が正常化されて出口に向かっていくことによって、今までの過剰流動性による金融相場から企業の業績が左右する業績相場へ移行していくものと思われれますので、持続的に利益成長していける質の高い企業への厳選投資がますます重要になってくると考えます。

また、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化などの地政学リスクについても大きなリスク要因として注意する必要があると考えており、今後も引き続きマーケットは上下にボラティリティが高い不安定な相場展開を想定しております。

## 調整局面でも慌てず冷静に

先月の世界の株式市場は大きく下落して、コロナショック時以来の大きな調整相場となりました。約2年ぶりの大きな調整に不安になってしまったお客さまも少なくないかもしれませんが、こういう時に大切なことは慌てずに冷静になることです。将来のための資産運用で今すぐに資金が必要でないのに怖くなって狼狽売ってしまうとそこで損益が確定してしまいます。

昨年の世界の株式市場は、各国政府中央銀行による大規模な金融緩和と財政出動に下支えされる中、コロナ禍からの経済活動正常化による景気回復と企業業績の改善期待によって米国を中心に史上最高値を更新して年間で3割近く上昇していましたので、金融緩和が正常化されていく過程で一旦調整することは想定されるシナリオであり、先月は大きく調整はしたもののそれでも世界株は水準的には1年前と比べると2割弱高い水準にあります。

マーケットは上がり続けることもなければ下がり続けることもありません。上がったりを繰り返していきいます。また、上に下にも行き過ぎることがよくありますが、時間が経てばやがて適正価値に価格が修正されていきます。長期で見れば、株式市場は企業の利益成長との相関が高く、企業利益が持続的に上昇して価値が高まっていけば長期的な株価上昇が期待できると考えます。

資産運用で成功するために大切なことは、今回のような調整局面でも慌てず冷静になり、短期的な相場変動に一喜一憂したり、相場を予測してタイミングを見計らって売買を繰り返したりするのではなく、不確実性がある前提でマーケットが上昇局面でも下落局面でも長期国際分散・厳選投資で資産運用を継続することによって分散投資効果でリスクを低減しながら、時間を味方につけて複利効果を楽しむことが大切であると考えます。

弊社では引き続きお客様から託されたお金を持続的に利益成長していける質の高い企業を中心に厳選投資し、幅広く世界に長期国際分散投資することで安定した運用成果の提供を目指して参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。



## 🌸 積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

### 「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



**タイミングを見計らうのではなく、  
時間を味方につけていきましょう！**

期間	平均取得単価	損益
1年	26,956円	▲5.7%
3年	21,010円	+21.0%
5年	19,704円	+29.1%
10年	15,180円	+67.5%
初回(2004年10月)から	12,223円	+108.1%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	11万3212円
3年	36万円	43万5744円
5年	60万円	77万4386円
10年	120万円	201万0311円
初回(2004年10月)から	208万円	432万7614円

2022年1月31日現在(基準価額:25,431円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。



## 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2022年 2月分	1月5日(水)	1月26日(水)	2月7日(月)	2月16日(水)	2月18日(金)
2022年 3月分	2月3日(木)	2月22日(火)	3月7日(月)	3月15日(火)	3月17日(木)
2022年 4月分	3月3日(木)	3月25日(金)	4月6日(水)	4月14日(木)	4月18日(月)
2022年 5月分	4月5日(火)	4月20日(水)	5月6日(金)	5月16日(月)	5月18日(水)

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

2月	21日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
3月	-	-	-
4月	15日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
	18日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルクの銀行休業日



## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはおお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

### ■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。